「木津川市 オリジナル名刺」

オモテ面見本

オモテ面は 16 パターン（横位置）。
旧デザインのままでも可能です。

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

ウラ面見本　12 パターンより「1 つ」、「ランダム」、または「無し」から選択してください。

木津川市

盤滿寺 釈迦如來坐像〈国宝〉

盤滿寺は「今昔物語集」に出てくる "蟹の恩返し" で有名。国宝の釈迦如来坐像（像高 2.403m、重さ 2t の金銅製）の造立は奈良時代以前と考えられている。

ウラ 01

木津川市

海住山寺 五重塔〈国宝〉

天平 7 年聖武天皇の勅願で東大寺の良弁僧正が開創したと伝えられ、十一面観音像（重要文化財）を安置する本堂の傍らにそびえる五重塔（国宝）は山並みに映え、鎌倉時代の傑作といわれている。

ウラ 02

木津川市

岩船寺 三重塔〈重要文化財〉

本尊阿弥陀如来・普賢菩薩・十三重石塔・石室不動明王・五輪塔・三重塔は、いずれも重要文化財。境内一帯に植えられたあじさいが美しく「あじさい寺」として知られている。

木津川市フォトコンテスト 入賞作品
「綺麗やな～」久井義弘

ウラ 03

木津川市

浄瑠璃寺 三重塔〈国宝〉

治承 2 年（1178）京都の一条大宮にあった三重塔を解体・移築された（浄瑠璃寺流記事）。塔の内部は、心柱・四天柱がなく、創建時の本尊、薬師如来坐像が安置され、壁画には十六羅漢や飛天が描かれている。

ウラ 04

木津川市

恭仁宮跡／山城国分寺跡〈国指定史跡〉

聖武天皇が天平 12 年（740 年）に平城京から遷都した都の跡地。都としての期間は 5 年と短いが、歴史上極めて重要な時期であったといえる。

ウラ 05

木津川市

梶ヶ谷隧道／大仏鉄道遺構

大仏鉄道とは、当時（100 年以上前）の関西（かんせい）鉄道の加茂～奈良を結ぶ、9.9km の路線の愛称。
アーチ部分はレンガ造りで下部は石積みの隧道。内部は歩くことができる。

ウラ 06

木津川市

わらい仏／当尾石仏〈府指定文化財〉

蓮台をもつ観音と合掌した勢至の両菩薩を従えた阿弥陀仏はやさしい笑みをたたえている。当尾の石仏群の中で代表される一つ。

ウラ 07

木津川市

いごもり祭／涌出宮〈重要無形民俗文化財〉

その年 1 年の稲作の豊作を予祝する農耕儀礼として、毎年 2 月中旬に涌出宮でおこなわれる。南山城地方最古の祭り。

ウラ 08

木津川市

木津御輿祭〈市指定文化財〉　御霊神社・岡田国神社

10 月下旬に、敬神組・拝神団・義友会・小寺・社町・西町の 6 台の御輿が、巡行される。御霊神社・岡田国神社での拝殿廻りがハイライト。

ウラ 09

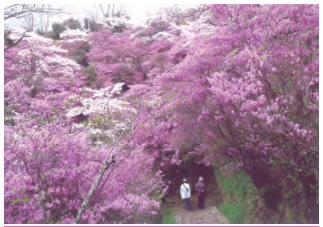
木津川市

けいはんな
学研都市

財団法人 国際高等研究所（IIAS）

「人類の未来と幸福のために何を研究すべきかを研究する」を理念に、1984 年に設立。持続可能で豊かな社会の実現に向け、さまざまな研究活動を実施している。

ウラ 10



木津川市

神童寺／みつばつつじ・桜

木津川市フォトコンテスト 入賞作品 「全山繚乱」加納 芳史

ウラ 11

木津川市

餅花／粗楽神社〈府指定文化財〉

2 月 1 日の昼からおこなわれる。餅を刺した竹串を粘土の藁包みに刺して満開の花に見立て、これを奉納し、五穀豊穣を祈願する祭り。

ウラ 12

■ 価格表（税込）

枚　数	名入れ印刷込（片面カラー）			名入れ印刷込（両面カラー）		
	100 枚	200 枚	300 枚	100 枚	200 枚	300 枚
通常価格	2,000 円	3,600 円	5,000 円	3,000 円	4,500 円	6,100 円
サポーター価格	1,500 円	2,700 円	3,750 円	2,250 円	3,400 円	4,600 円

※ロゴや地図などの追加は別途料金が必要です。

※企業・団体賛助会費　1 口　10,000 円
　個人賛助会費　1 口　1,000 円
（何口でも結構です）